

北國がソニーを一蹴して単独トップに

～第34回日本ハンドボールリーグ・第2週～

第34回日本ハンドボールリーグ第2週は広島などで男女各3試合行われ、男子ではトヨタ紡織九州が開幕2連勝をマークしたほか湧永製菓、トヨタ車体が初白星をマーク、女子は北國銀行がソニーセミコンダクタ九州に快勝して2連勝を飾り、オムロン、広島メイプルレッズが初勝利をものにした。なお、ソニー・田中美音子が北國戦で5得点を決めて通算1082得点とし、男子・岩本真典（大崎電気）のもつ日本リーグ通算1079得点を抜き、男女を通じて最多得点を更新した。

男子の湧永－豊田合成戦は、前半より湧永がセット攻撃と堅い守りから合成の攻撃ミス进行を誘い、坂本、新らの速攻で着実に得点を加えた。合成は桶谷のサイドシュートなどで応戦するが力の差は大きく、湧永が18－11と7点リードで前半終了。後半も緩急織り交ぜた攻撃でまんべんなく加点した湧永が39－23で勝利をものにした。

車体－北陸電力戦は開始30秒で車体・門山の得点でスタート。車体は北電・G K丸山の好守でなかなか追加点を奪えなかったが、ポストをからめた攻撃から小沢、崎前の両サイドシュートなどで12分6－2とした。北電は丸山の連続好セーブで耐え、ポストの落合にボールを集めた攻撃などで流れを変えようとしたが、序盤の失点を盛り返すまでに至らなかった。後半に入ると車体はエース門山の右腕が爆発、左腕・高智も続いて得点ペースを上げる一方、7 mスローを阻んだ坪根、再三の好セーブをみせた田平と両G Kの活躍もあって完全に試合の流れをつかんだ。セットオフenseで攻めあぐむ北電は中盤以降、クイックスタートからの攻撃に切り替えて挽回を図ったが、車体がそのまま優位をキープして白星を奪った。

女子はソニーセミコンダクタ九州と北國が鹿児島で激突。若松のサイドシュートで先制した北國が相手の攻撃ミスやディフェンスからの速攻でスピーディに加点したのに対し、ソニーはセット攻撃を中心に全員がよく動いて応戦するという対照的な展開で前半24分まで11－11と互角の攻防を展開。2本の7 mスローを阻止した北國・寺田、速攻のノーマークシュートをシャットアウトしたソニー・中島と両チームG Kの好守の応酬が試合を盛り上げた。しかし、ここから北國はサイド宮前の連続ゴールや仲宗根のステップシュートなどで一気に引き離しにかけ、18－12と6点リードで前半を終えた。後半に入り、上町、横嶋らで着実に加点する北國に対し、ソニーは高橋らで追撃したが前半の6点差が大きく響き、勝機を見出せないままタイムアップを迎えた。終始果敢なディフェンスを繰り広げた北國が2連勝で単独トップ、ソニーは開幕戦でオムロンを破った勢いがなく1勝1敗となった。

H C名古屋と対戦したオムロンは、シュートブロックや相手のミスからの速攻などでリードを奪うと、19分には洪がスピード感あふれるセットプレーから鮮やかなミドルシュートを決め、リーグ史上16人目となる通算400得点をマークした。名古屋は高橋玲らで反撃を試みるが堅いオムロンディフェンスを崩せず、速攻を中心に得点を重ねたオムロンが19－6と13点リードで前半終了。後半もオムロンは洪、坂元に代わって出場した永田、吉田薫ら若手も活躍し、ディフェンスから速攻の展開で次々と得点を加えて圧勝した。



初勝利をマークした④トヨタ車体・高智と
⑤オムロン・城内

第3週の日程

9月19日(土)	愛 知	東海市民体育館(名鉄常滑線尾張横須賀駅徒歩10分)	13:00～	(男)	大 同 特 殊 鋼×ト ヨ タ 車 体
		豊田合成(株)健康管理センター(JR東海道線稲沢駅徒歩15分)	13:00～	(女)	H C 名 古 屋×ソニーセミコンダクタ九州
			15:00～	(男)	豊 田 合 成×北 陸 電 力
	広 島	東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00～	(女)	広 島メイプルレッズ×オ ム ロ ン
香 川	高松市香川総合体育館(JR高松駅塩江方面行きバス「浅野」バス停下車)	13:30～	(男)	大 崎 電 気×ト ヨ タ 紡 織 九 州	
9月20日(日)	三 重	名張市総合体育館(近鉄大阪線名張駅からバス「夏見」下車徒歩5分)	14:00～	(女)	三重バイオレットアイリス×北 國 銀 行

紡織2連勝、広島は逆転で初勝利

9月12日、沖縄での琉球コラソントヨタ紡織九州、広島での広島メイプルレッズ－三重バイオレットアイリスも白熱した展開となった。

琉球－紡織戦は、開始2分、紡織・藤山の7mTをGK石田が阻むなど、琉球が時には先行しながら紡織に食らいつき、18分、10－10の同点。しかし、地力に優る紡織は、呉、石黒の連打などでわずかに抜け出し、後半立ち上がりも琉球のミスにつけ込んで、佐久間を中心に琉球ゴールを襲い続け、11分、26－16と10点リードを奪った。

それでも、地元の声援を背にした琉球は、選手兼任の田場監督がコートに立って反撃ムードを盛り上げ、2度の4連取で21分、25－29と4点差まで追撃。最後は紡織の底力に再び突き放されたが、総勢12人の琉球は最後まで健闘を見せた。

広島－三重は前半17分、9－9の同点から星野、宮下の連打で先行した三重が、リードをキープしたまま後半へ。

前半からのリードを活かして逃げ切りを図りたい三重がミスを繰り返してもたつく間に、広島は栗本や李の連打で追撃。18分、23－24と1点リードを許した場面から、広島は村山の同点打に続き、植垣、土屋で連取。勝負所でスリと態勢を入れ替えた広島が三重の追撃を1点差で振り払い、今シーズン初勝利をマークした。

次週第3週は、9月19日、20日の両日、愛知、広島、香川、三重を舞台に、愛知での大同特殊鋼－トヨタ車体、香川での大崎電気－トヨタ紡織九州など、男子の実力派同士の激突をはじめ、男女3試合ずつが組まれている。

◆ 9月12日(土) 女子
広島・東区スポーツセンター

広島メイプル レッズ	28	(13-15)	27	三重バイオレ ットアイリス
1勝0分1敗				1勝0分1敗
<1/1>	K 堂 面	浅 井 K <0/2>		
	3/ 5 土 屋	横 川 4/ 5		
	4/ 8 村 山	桂 6/11		
	0/ 0 河 田	石 黒 0/ 0 0/2		
	2/ 4 大 前	宮 下 1/ 3		
4/4	5/11 植 垣	谷 口 0/ 0		
	4/ 6 李	北 村 0/ 0		
	4/ 6 栗 本	橋 本 3/ 5		
	0/ 0 伊 藤	野 中 0/ 0 0/1		
	0/ 0 五月女	毛 利 K <0/2>		
<2/2>	K 横 田	星 野 6/ 8		
	0/ 0 安 齋	伊 藤 7/12		
	0/ 0 石 山	島 崎 0/ 0		
	2/ 4 新 城			

4/4 24/44 3(FPP)6 27/44 0/3
審判(藤井・大熨) 観客 563人

◆ 9月12日(土) 男子
広島・東区スポーツセンター

湧永製菓	39	(18-11)	23	豊田合成
1勝0分1敗		(21-12)		0勝1分1敗
	2/ 3 谷 村	榊 原 1/ 2		
	3/ 3 木 村	原 0/ 1		
	5/ 9 坂 本	黒 木 2/ 2		
	2/ 2 山 中	大 橋 0/ 0		
	1/ 2 福 田	桶 谷 7/11		
	0/ 0 吉 田	加 藤 0/ 0		
1/2	2/ 5 佐 藤	中 島 2/10		
1/1	2/ 3 名 嘉	森 光 2/ 3 0/1		
	8/13 新	藤 田 K <1/3>		
	5/ 5 武 藤	今 村 3/10		
	1/ 2 今 井	中 村 2/ 3		
<1/1>	K 松 村	芳 仲 4/ 8		
	1/ 2 古 家	藤 堂 K <0/1>		
1/1	4/ 5 東長濱	昌 中 0/ 0		

3/4 36/54 9(FPP)7 23/50 0/1
審判(佐々木・高原) 観客 618人

◆ 9月12日(土) 男子
沖縄・浦添市民体育館

トヨタ紡織 九州	36	(18-13)	28	琉球 コラソン
2勝0分0敗		(18-15)		0勝1分1敗
<0/2>	K 松 野	宮 城 1/ 5		
	7/11 中 畠	久 高 1/ 2		
	1/ 1 西 端	村 山 4/ 8 2/3		
	2/ 3 村上直	水野矢 3/ 6		
	9/12 呉相民	玉 城 0/ 1		
	4/ 7 佐久間	池 田 4/ 5		
	0/ 0 鶴 田	志慶真 5/ 8		
	2/ 4 海 道	内 山 K <0/1>		
	2/ 4 阪	田 場 3/ 3		
<1/1>	K 谷 川	田 場 1/ 1		
	0/ 0 木 練	石 田 K <1/3>		
1/1	2/ 2 鈴 木	水野紀 4/ 7		
0/1	2/ 9 藤 山			
2/2	2/ 3 石 黒			

3/4 33/56 9(FPP)9 26/46 2/3
審判(黒木龍・黒木秀) 観客 538人

◆ 9月13日(日) 女子
長野・千曲市戸倉体育館

オムロン	40	(19- 6)	11	H C名古屋
1勝0分1敗		(21- 5)		0勝0分2敗
<2/3>	K 勝 田	近 藤 K <0/2>		
	8/ 8 城 内	池 田 0/ 1		
	6/13 高 田	佐 藤 1/ 7 1/2		
	3/ 5 市 村	高橋瑛 0/ 2		
1/2	0/ 0 吉田祥	菅 谷 1/ 5 1/2		
	6/ 9 石 立	外 本 0/ 1		
	0/ 1 坂 元	上 野 4/ 4		
	5/ 7 洪廷昊	高橋玲 3/ 4		
<0/1>	K 藤 間	家 城 K <1/1>		
	0/ 1 勝 連	秋 山 0/ 0		
	5/ 5 吉田薫	星 野 0/ 1 0/1		
1/1	5/10 永 田	神 谷 0/ 0		
<1/1>	K 山 中			
	0/ 2 東 濱			

2/3 38/61 9(FPP)4 9/25 2/5
審判(大石・桜打) 観客 591人

◆ 9月13日(日) 男子
長野・千曲市戸倉体育館

トヨタ車体	28	(11- 5)	17	北陸電力
1勝0分1敗		(17-12)		0勝0分2敗
	0/ 0 石 戸	高 橋 2/ 5		
	1/ 1 佐々木	神 田 3/11		
	3/ 8 高 智	落 合 4/ 8 1/2		
	0/ 1 安 藤	前 田 2/ 5		
	3/ 5 藤 田	高 田 3/ 4		
	0/ 1 高 木	杉 山 1/ 3		
	0/ 0 北 出	大 谷 0/ 0		
<1/1>	K 田 平	表 0/ 0		
	1/ 3 小 沢	廣 瀬 K		
<1/2>	K 坪 根	山 原 0/ 8 0/1		
1/1	1/ 3 香 川	松 岡 0/ 0		
	6/ 9 崎 前	丸 山 K <0/3>		
2/2	1/ 1 銘 苅	石 塚 1/ 4		
	9/14 門 山	有 江 K		

3/3 25/46 4(FPP)7 16/48 1/3
審判(本田・田淵) 観客 655人

◆ 9月13日(日) 女子
鹿児島・霧島市国分体育館

北國銀行	33	(18-12)	27	シーセイモン タ九州
2勝0分0敗		(15-15)		1勝0分1敗
<2/5>	K 寺 田	中 島 K		
	0/ 1 鰻 場	郭惠静 8/17		
2/2	7/10 上 町	長 野 0/ 3		
	3/ 5 宮 前	高 橋 5/ 9 4/4		
	2/ 5 佐久川	田 中 5/ 9		
	0/ 0 川 井	山 田 0/ 0		
	1/ 1 中 村	工 藤 1/ 2 1/2		
	7/ 7 横 嶋	儀 間 0/ 0		
	1/ 2 野路良	高 栖 3/ 4		
<0/2>	K 田 代	黒 木 0/ 0		
	3/13 仲宗根	飛 田 K <0/2>		
	0/ 0 井 上	佐 師 0/ 0		
	0/ 0 八十島	飯 田 0/ 0		
	7/ 9 若 松	東 0/ 0 0/1		

2/2 31/53 11(FPP)4 22/44 5/7
審判(亀井・堀川) 観客 778人

選手・役員登録情報

◇三重バイオレットアイリス

監督 橋本由紀子

◇北陸電力

No.18 櫛田 亮介 1977.6.29 186cm 95kg

左 一条高→中部大→ホンダ→ホンダ熊本

→ESV LokPIRNA→TSV Weinsberg

※出場可能日：いずれも2009/9/19

日程変更

(変更前) 10月24日(土) 東区スポーツセンター

13:00 広島－北國 15:00 湧永－大崎

(変更後) 10月24日(土) 東区スポーツセンター

14:00 広島－北國 16:00 湧永－大崎

※会場、試合日に変更はありません。

男女個人賞レース 第2週終了

《男子》

《女子》

得点王

1	呉 相民	(トヨタ紡織九州)	14 点	(2試合)	1	上町 史織	(北 國 銀 行)	20 点	(2試合)
2	新 建二	(湧 永 製 薬)	13 点	(2試合)	2	高橋 恵	(ソ ニ ー)	16 点	(2試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	13 点	(2試合)	3	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	15 点	(2試合)
2	村山 裕次	(琉球コラソン)	13 点	(2試合)	4	城内 真紀	(オ ム ロ ン)	14 点	(2試合)
5	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	11 点	(2試合)	4	横嶋かおる	(北 國 銀 行)	14 点	(2試合)
6	坂本 伸博	(湧 永 製 薬)	10 点	(2試合)	4	郭 恵静	(ソ ニ ー)	14 点	(2試合)
6	桶谷 英則	(豊 田 合 成)	10 点	(2試合)	7	星野 美佳	(バイオレットアイリス)	12 点	(2試合)
6	崎前 博章	(トヨタ車体)	10 点	(2試合)	7	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	12 点	(2試合)
9	末松 誠	(大同特殊鋼)	9 点	(1試合)	9	高田 裕梨	(オ ム ロ ン)	11 点	(2試合)
9	阪 昭博	(トヨタ紡織九州)	9 点	(2試合)	10	横川 恵子	(バイオレットアイリス)	10 点	(2試合)
9	志慶真龍我	(琉球コラソン)	9 点	(2試合)	10	上野 愛美	(H C 名 古 屋)	10 点	(2試合)
12	武藤 剛	(湧 永 製 薬)	8 点	(2試合)	10	若松 里佳	(北 國 銀 行)	10 点	(2試合)
12	豊田 賢治	(大 崎 電 気)	8 点	(1試合)	13	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	9 点	(2試合)
12	谷村 遼太	(湧 永 製 薬)	8 点	(2試合)	14	大前 典子	(メイプルレッズ)	8 点	(2試合)
12	水野 裕紀	(琉球コラソン)	8 点	(2試合)	14	洪 廷昊	(オ ム ロ ン)	8 点	(2試合)
12	落合 信也	(北 陸 電 力)	8 点	(2試合)	14	仲宗根 彩	(北 國 銀 行)	8 点	(2試合)
12	今村 彰伸	(豊 田 合 成)	8 点	(2試合)					

フィールド得点賞

1	呉 相民	(トヨタ紡織九州)	14 点	(2試合)	1	上町 史織	(北 國 銀 行)	17 点	(2試合)
2	新 建二	(湧 永 製 薬)	13 点	(2試合)	2	城内 真紀	(オ ム ロ ン)	14 点	(2試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	13 点	(2試合)	2	横嶋かおる	(北 國 銀 行)	14 点	(2試合)
4	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	11 点	(2試合)	2	郭 恵静	(ソ ニ ー)	14 点	(2試合)
5	坂本 伸博	(湧 永 製 薬)	10 点	(2試合)	5	星野 美佳	(バイオレットアイリス)	12 点	(2試合)
5	桶谷 英則	(豊 田 合 成)	10 点	(2試合)	5	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	12 点	(2試合)
5	崎前 博章	(トヨタ車体)	10 点	(2試合)	7	高橋 恵	(ソ ニ ー)	11 点	(2試合)
8	阪 昭博	(トヨタ紡織九州)	9 点	(2試合)	7	高田 裕梨	(オ ム ロ ン)	11 点	(2試合)
8	志慶真龍我	(琉球コラソン)	9 点	(2試合)	9	横川 恵子	(バイオレットアイリス)	10 点	(2試合)
10	武藤 剛	(湧 永 製 薬)	8 点	(2試合)	9	上野 愛美	(H C 名 古 屋)	10 点	(2試合)
10	豊田 賢治	(大 崎 電 気)	8 点	(1試合)	9	若松 里佳	(北 國 銀 行)	10 点	(2試合)
10	谷村 遼太	(湧 永 製 薬)	8 点	(2試合)	9	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	10 点	(2試合)
10	末松 誠	(大同特殊鋼)	8 点	(1試合)					
10	水野 裕紀	(琉球コラソン)	8 点	(2試合)					
10	今村 彰伸	(豊 田 合 成)	8 点	(2試合)					

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	武藤 剛	(湧 永 製 薬)	8点/ 10射 0.800	1	横川 恵子	(バイオレットアイリス)	10点/ 11射 0.909
2	豊田 賢治	(大 崎 電 気)	8点/ 11射 0.727	2	城内 真紀	(オ ム ロ ン)	14点/ 16射 0.875
3	谷村 遼太	(湧 永 製 薬)	8点/ 12射 0.667	3	上野 愛美	(H C 名 古 屋)	10点/ 12射 0.833
4	新 建二	(湧 永 製 薬)	13点/ 20射 0.650	4	横嶋かおる	(北 國 銀 行)	14点/ 18射 0.778
5	阪 昭博	(トヨタ紡織九州)	9点/ 14射 0.643	5	若松 里佳	(北 國 銀 行)	10点/ 13射 0.769

7mスロー得点賞

1	村山 裕次	(琉球コラソン)	6 点	(2試合)	1	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	5 点	(2試合)
2	銘苅 淳	(トヨタ車体)	5 点	(2試合)	1	高橋 恵	(ソ ニ ー)	5 点	(2試合)
3	石黒 将之	(トヨタ紡織九州)	3 点	(2試合)	3	上町 史織	(北 國 銀 行)	3 点	(2試合)
4	森光 勇太	(豊 田 合 成)	2 点	(2試合)	4	藤井 紫緒	(オ ム ロ ン)	2 点	(1試合)
4	山原 佑太	(北 陸 電 力)	2 点	(2試合)	4	工藤 麻衣	(ソ ニ ー)	2 点	(2試合)
4	東長濱秀作	(湧 永 製 薬)	2 点	(2試合)	4	東 サヤカ	(ソ ニ ー)	2 点	(2試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	東 直明	(大同特殊鋼)	2本/ 3射 0.667	1	勝田 祥子	(オ ム ロ ン)	2本/ 3射 0.667
1	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	2本/ 3射 0.667	1	横田智恵美	(メイプルレッズ)	2本/ 3射 0.667
3	藤田 東吾	(豊 田 合 成)	2本/ 6射 0.333	3	寺田三友紀	(北 國 銀 行)	2本/ 5射 0.400
3	谷川 一寿	(トヨタ紡織九州)	1本/ 3射 0.333	4	近藤 澄江	(H C 名 古 屋)	1本/ 4射 0.250
5	丸山 浩嗣	(北 陸 電 力)	2本/ 7射 0.286	5	藤間かおり	(オ ム ロ ン)	1本/ 6射 0.167

第 34 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表

第2週終了 9月13日

順位	男 子	トヨタ 紡織九州	大崎電気	大 同 特殊鋼	湧永製薬	トヨタ 車 体	琉 球 コラソン	豊田合成	北陸電力	試合 数	勝 数	引 分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差
1	トヨタ紡織九州						36 ○ 28		30 ○ 23	2	2	0	0	4	66	51	15
2	大 崎 電 気					36 ○ 25				1	1	0	0	2	36	25	11
3	大 同 特 殊 鋼				32 ○ 26					1	1	0	0	2	32	26	6
4	湧 永 製 薬			26 ● 32				39 ○ 23		2	1	0	1	2	65	55	10
5	ト ヨ タ 車 体		25 ● 36						28 ○ 17	2	1	0	1	2	53	53	0
6	琉 球 コ ラ ソ ン	28 ● 36						22 △ 22		2	0	1	1	1	50	58	-8
7	豊 田 合 成				23 ● 39		22 △ 22			2	0	1	1	1	45	61	-16
8	北 陸 電 力	23 ● 30				17 ● 28				2	0	0	2	0	40	58	-18

順位	女 子	北國銀行	広島メイプル レッズ	ソニーセミコン ダクタ九州	オムロン	三重バイオ レットアイリス	HC名古屋	試合 数	勝 数	引 分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差
1	北 國 銀 行		34 ○ 28	33 ○ 27				2	2	0	0	4	67	55	12
2	広 島 メ イ プ ル レ ッ ズ	28 ● 34				28 ○ 27		2	1	0	1	2	56	61	-5
3	ソ ニ ー セ ミ コ ン ダ ク タ 九 州	27 ● 33			28 ○ 27			2	1	0	1	2	55	60	-5
4	オ ム ロ ン			27 ● 28			40 ○ 11	2	1	0	1	2	67	39	28
5	三 重 バ イ オ レ ッ ト ア イ リ ス		27 ● 28				30 ○ 15	2	1	0	1	2	57	43	14
6	H C 名 古 屋				11 ● 40	15 ● 30		2	0	0	2	0	26	70	-44

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。